

學小
日本脩身書
尋常科
生徒用
卷一

139

検定申請中

K120.1
31a
1

K120.1

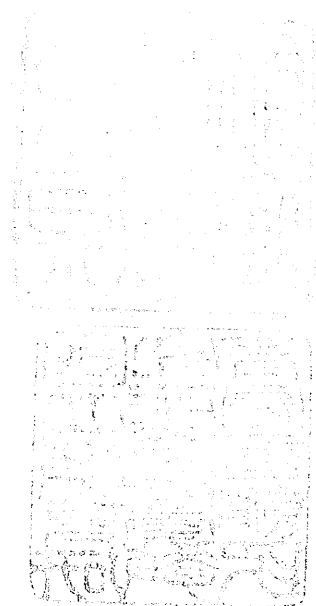
31a

1

稻垣千穎編述

小
學
四
本
脩
身
書

東京 成美堂發兌



勅語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ徳ヲ
樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億
兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國
體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民
父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉
已レテ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ
智能ヲ啓發シ徳器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ
開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義

勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ
如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ
爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン

斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民
ノ俱ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ
中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ拳々服膺シテ
咸其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名 御璽



古今國在

古今國在

自題 著者 昭和十三年三月

活方

初稿 樹み 上 題



緒言

一此の書は尋常小學の教科に充つるが爲に編纂せし者にして主として教育に關する勅語及現行教則大綱等緊要なる教育の精神に依り本邦人士の善行を輯録して日常の作法及人道實踐の方法を授け特に尊王愛國の志氣を養成するの用に供せり故に名づけて日本脩身書といふ

一此の書全編分けて八巻とし毎巻可成道徳の全體に渉る材料を蒐集せるを以て修業年限三ヶ年の尋常科に於ては第六巻までを課すれば日常の作

法及人道實踐の方法尊 王愛國の義を辨へしむ
ることを得べし

一 編纂の材料は學年の順序に隨ひて易より難に卑
より高に及せり

一 第一第二の卷に於ては主として孝行、友愛、信義、修
學作法、敬禮等の事を擧げ且特に 行幸を拜し神
明を敬する心得を記し漸次尊 王愛國の志を養
ふ端緒を開く基礎をなせり

一 第一卷には事實の記載を略して圖畫のみを示し
第二卷には圖畫の下に近易の嘉言を掲げて生徒
の誦讀に供す

一 文章は品格高くして句調流暢ならんことを務め
たり是文章の品位は修身科授業上譬へば猶言語
の粗野と優美とによりて生徒の感情を異にする
が如く頗緊要の者なればなり

一 言行を記するに三公には公と稱し三位以上には
卿と稱する類一に本朝の制によりて以て朝爵を
貴ぶを示し藩主大名等を諸侯と稱し其の家士を
臣と言ひ國を州と稱するが如きもと私稱にして
朝廷の制にあらざる者は一切之を用ひず
一 幼童の讀難かるべき文字及地名人名等には多く
假字を附して誦讀に便せり

一此の書の外別に教師用書を編して實地應用の
法を詳記せり

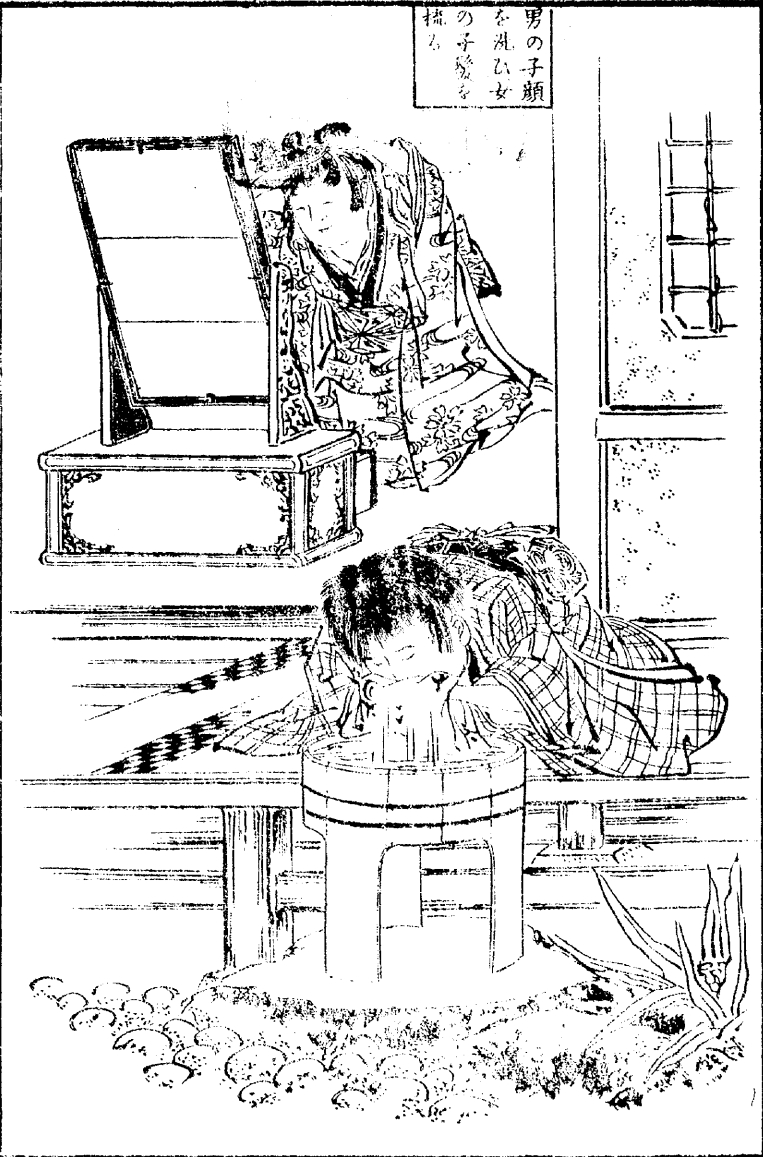
一此の書を編するに當ては十數年間小學校中學校
師範學校の教授に従事し普通教育に老いたる數
氏の工案と助力とをもとめ十分實踐上に利便あ
らしめんことをつとめたり

明治二十五年四月

編者識

第一課

男の子顔
を洗ひ女
の子髪を
梳く



小日本修身書

卷一

成美堂藏版

第二課

男女二人
の子供父
母に禮を
為す



傳 日本書紀

卷一

后美堂藏版

第三課

松平好亭
恭しく
母の賜を
受く



小日本書紀

卷一

後美堂藏版

第四課



男女二人の子供はよく食事を為す

學日本傳其書 卷一 成美堂藏版

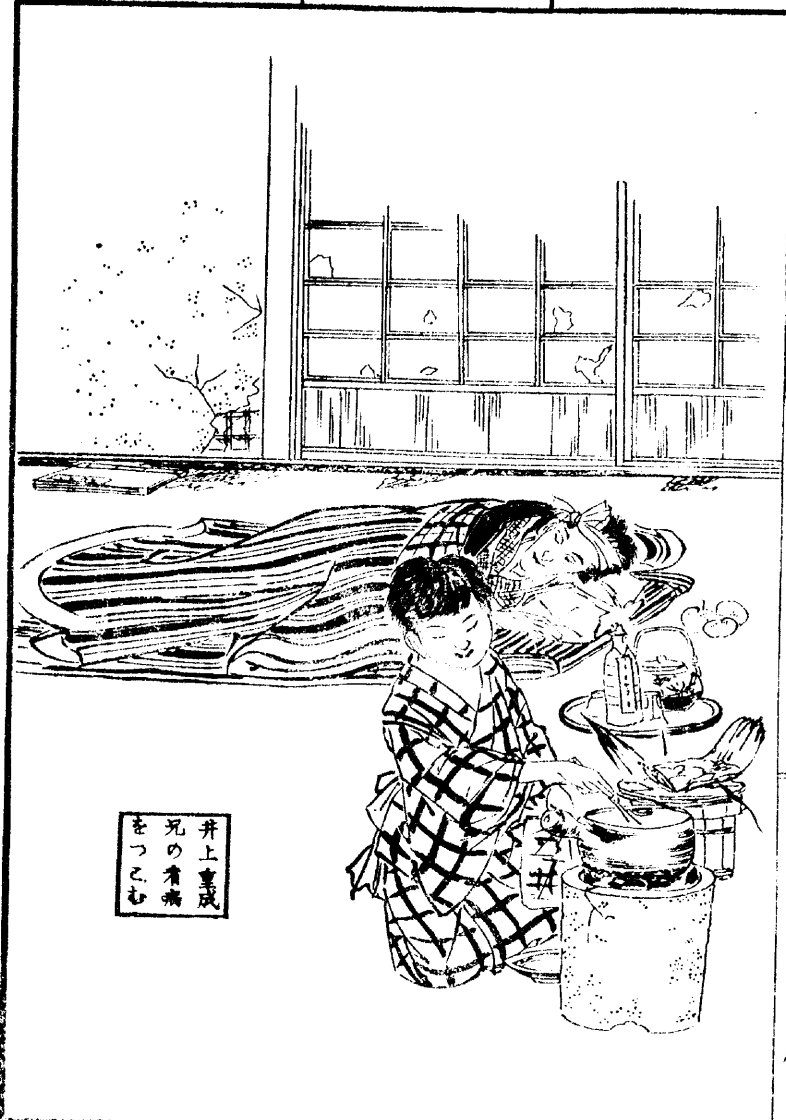
第五課

毛利元就兄弟朝睦の必要を三子に諭す



小日本傳其書 卷一 成美堂藏版

第六課



井上重成
死の病
をつむ

學日本修身書

成美堂印刷

第七課



正造朋友
の林檎を
採らんと
するを止
む

小日本修身書

卷一

四

成美堂印刷

第九課

男女三人
の子女慎
て父の語
を聞く



第八課

名和長年
の父約を
重んじて松
を村童に
興ふ



小日本書院
卷一
五
成美堂蔵版

學日本修身書
卷一
成美堂蔵版

第十課

男女二人
の子供代
る代る老
婆の為に
薪を買ふ



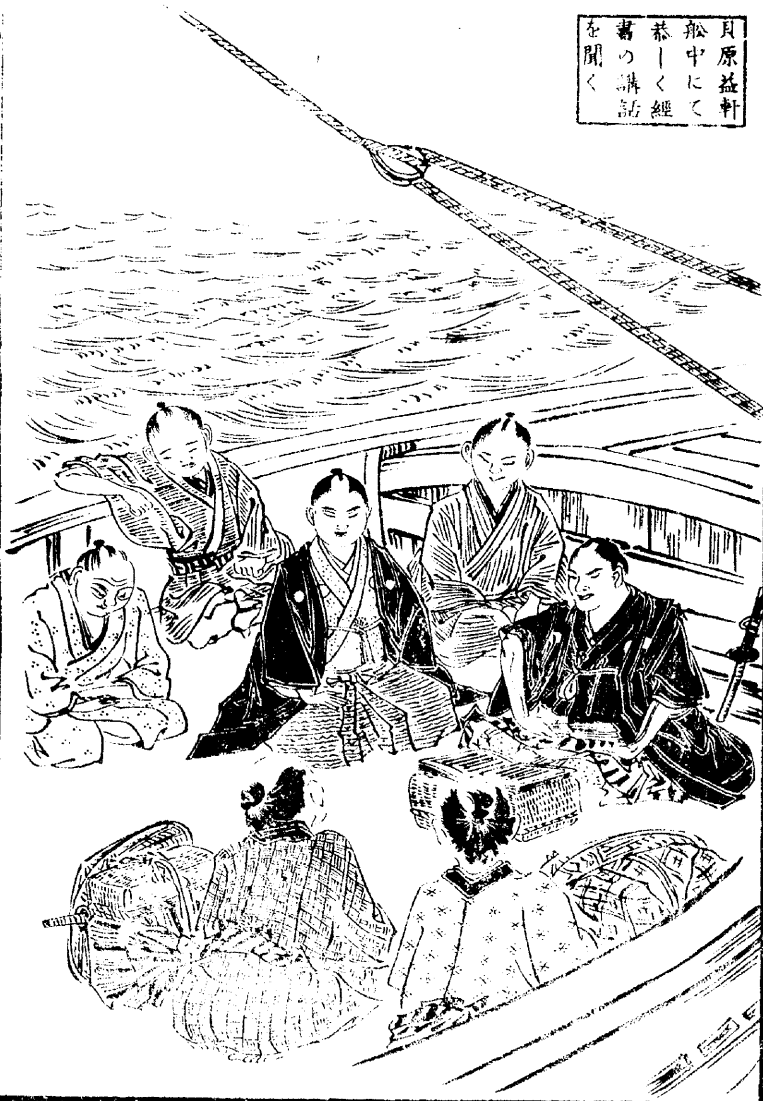
學日本書

卷一

成美堂藏版

第十一課

貝原益軒
船中にて
恭しく經
書の講話
を聞く



小日本書

卷一

成美堂藏版

課二十第

酒井忠勝
道習の物
を兼末に
するを誠
む



學日大傳身書 卷一 成美堂藏片

課三十第

二人の男
の子學用
品を整頓
す



小日本修身書 卷一 成美堂藏版 七

第四十課

山崎開齋
己の無業
を歎ず



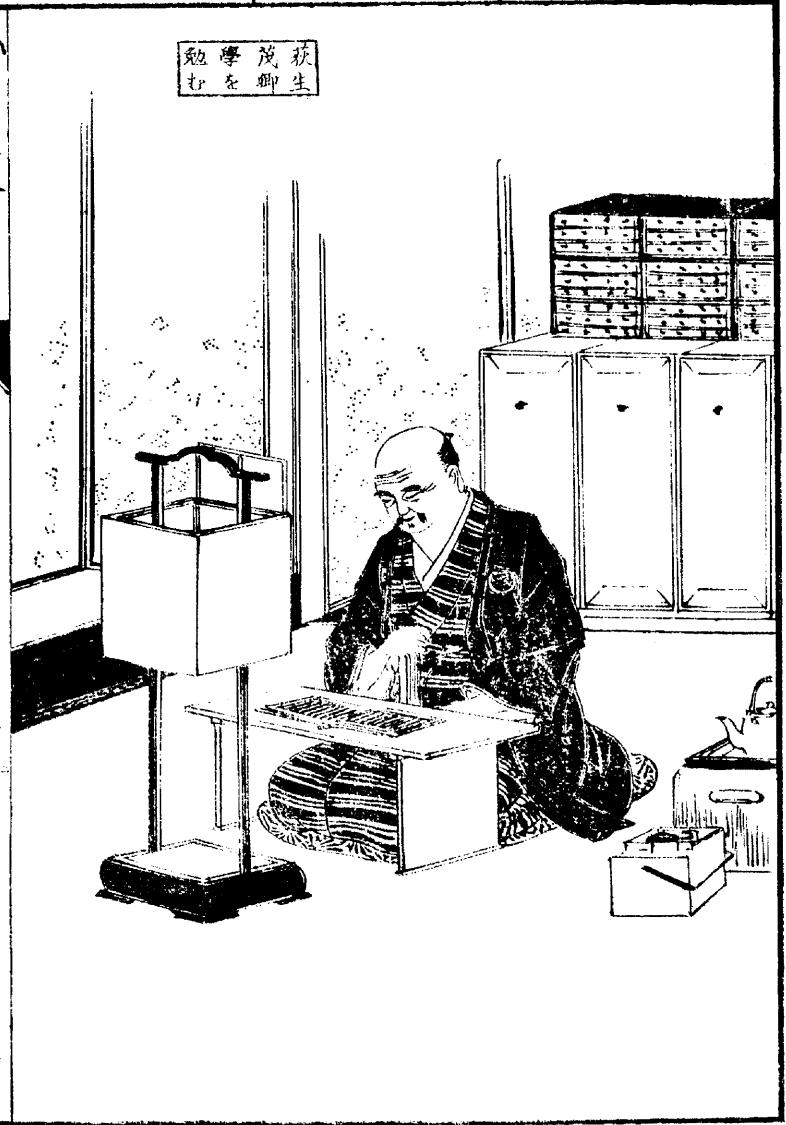
學日本修身書

卷一

萬美堂藏版

第五十課

萩生
茂卿
學を
勉む



小日本修身書

卷一

萬美堂藏版

第六十課

盲女志が
裁縫を勉



學日本修身書

卷一

成美堂藏版

第七十課

男の子父の
傍に正しく
坐す女の子
恭しく菓子
盆を家の前
に出す



幼日本修身書

卷一

九

成美堂藏版

第八十課

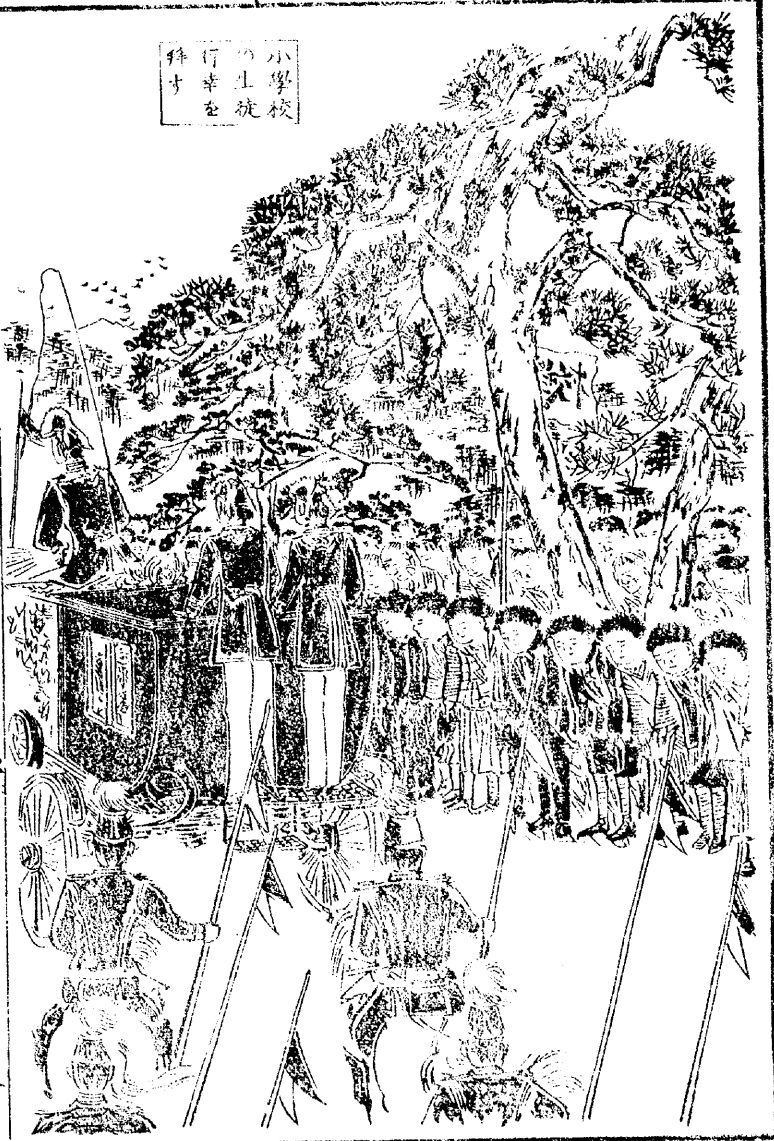
男女三人の
子供往來に
て知りたる
人に遇ひ恭
しく禮を為
す



學日本修身書 卷一 成美堂發行

第九十課

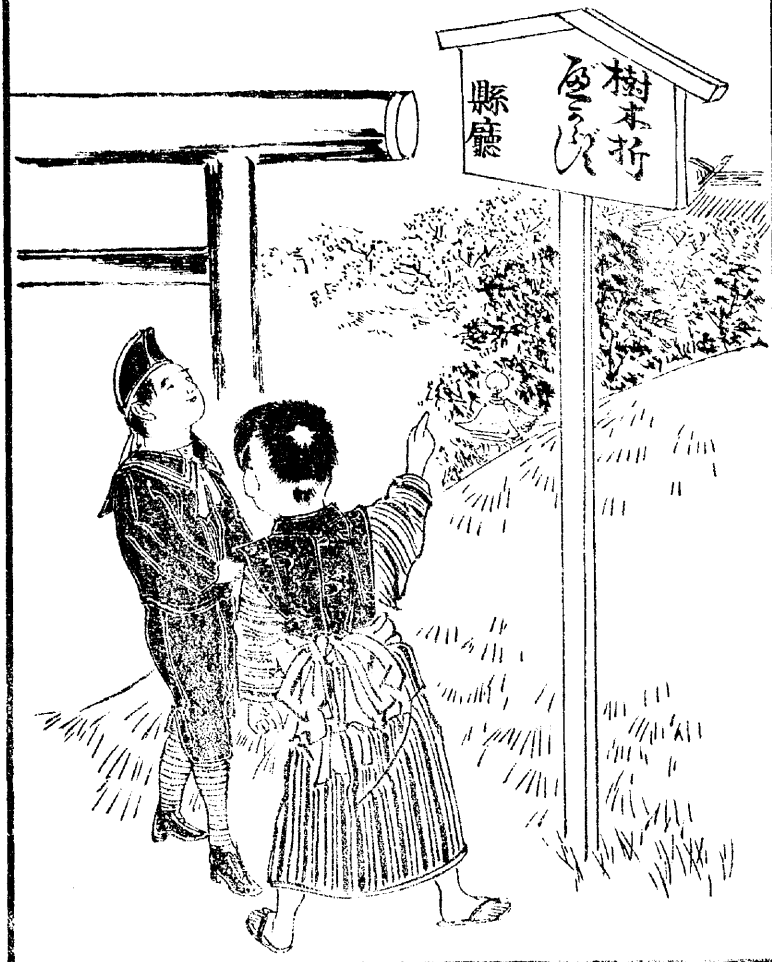
小学校
の生徒
行幸を
拜す



小学校の生徒 行幸を拜す 十一 又三三三三三三

第十二課

二人の子供
公園の制札
をよむ



小學 日本修身書卷一 終

明治二十五年五月五日出版
明治二十五年九月廿八日印刷
明治二十五年九月廿九日訂正再版

定價金三錢五厘

版權所有

著作者

發行兼

印刷人

發賣所

發賣所

稻垣千穎

東京市下谷區仲後町三丁目廿番地

三浦源助

岐阜市米屋町廿番戶

成美堂支店

東京市日本橋區本町本町壹丁目

石井鈞三郎

大坂市東區備後町四丁目

